

GLP投資法人が発行する 「サステナビリティボンド」への投資について

大東京信用組合（理事長 内田通郎、以下「当組合」）は、このたび、GLP投資法人（以下「本投資法人」）が発行する第20回無担保投資法人債（サステナビリティボンド）、（以下「本債券」）への投資をいたしましたので、お知らせいたします（本債券発行日2022年2月25日）。

「サステナビリティボンド」とは、調達資金の使途が①社会的課題の解決に資するものであること（ソーシャル性）および、②環境改善効果があること（グリーン性）の双方を有する債券です。

本投資法人は、本債券で調達した資金を、2022年2月28日満期を迎える借入金（サステナビリティ適格資産であるGLP杉戸、GLP鳥栖Iの取得資金）の満期返済資金に充当する予定です。

また、本投資法人は本債券発行にあたって「サステナビリティファイナンスフレームワーク」を策定し、第三者評価として株式会社日本格付研究所（JCR）より、「JCRサステナビリティファイナンス・フレームワーク評価」の最上位評価である「SU1（F）」の評価を取得しております。

当組合は、今後もESG投資を通じて、SDGsの達成に貢献する事業を資金面からサポートし、持続可能な社会の形成に寄与すべく社会的使命・役割を果たしてまいります。

以上